



(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

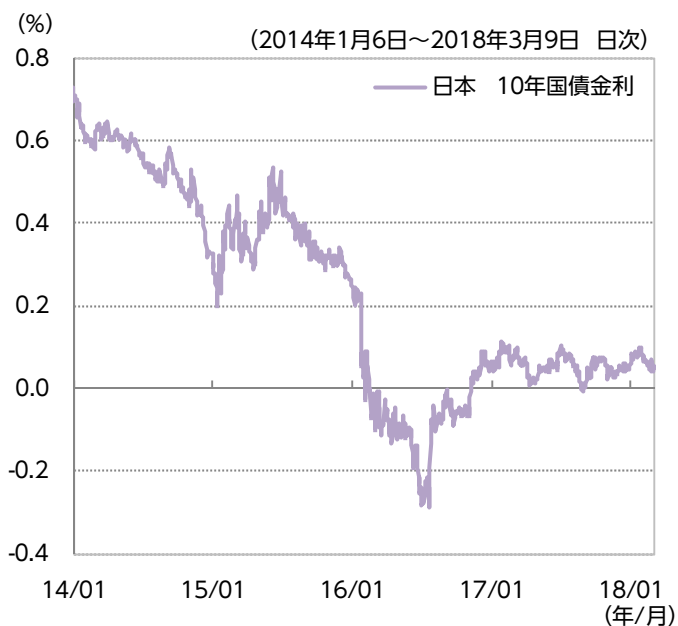
- 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。週初は、トランプ米大統領の通商政策を巡る発言を受け、前週から引き続き4日続落となり、昨年10月12日以来、およそ5カ月ぶりの安値を付けました。その後は貿易摩擦の懸念の後退や、米朝首脳が初会談するとの報道を受け、北朝鮮リスクへの警戒感が後退したこと等から週末まで概ね上昇基調となりました。（週末引け値：21,469.20円）
- 週間では、日経平均株価は1.36%の上昇、東証株価指数0.42%の上昇でした。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

- 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下となりました。前週末に広がった金融政策の正常化の思惑が後退したことや、トランプ米政権による政策運営の不透明感などから、週を通じて買いが先行（利回りは低下）となりました。（週末引け値：0.053%）
- 週間では、0.015%の低下となりました。

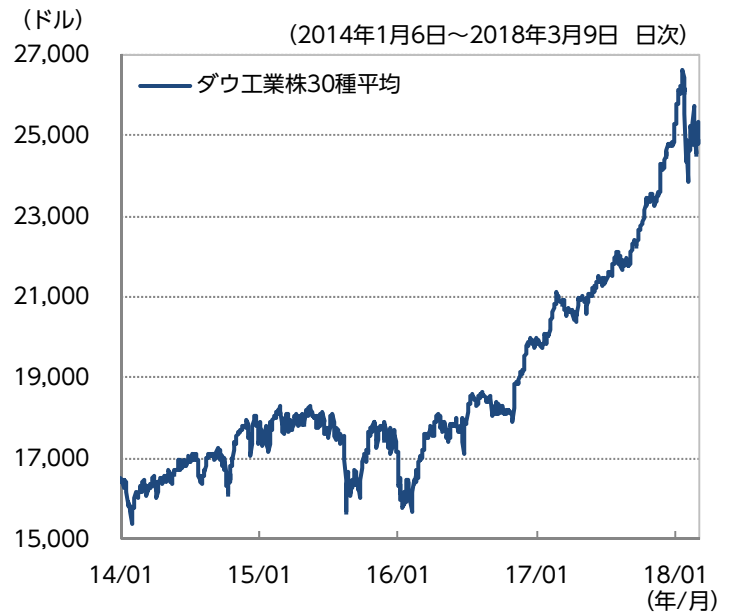


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 先週の米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。世界的な貿易摩擦の懸念が軽減されたことや、北朝鮮が核放棄等について米国と対話する姿勢を示し、地政学リスクの後退が意識されたことから、概ね上昇基調となりました。（週末引け値：25,335.74ドル）
- 週間ではNYダウは3.25%の上昇となりました。

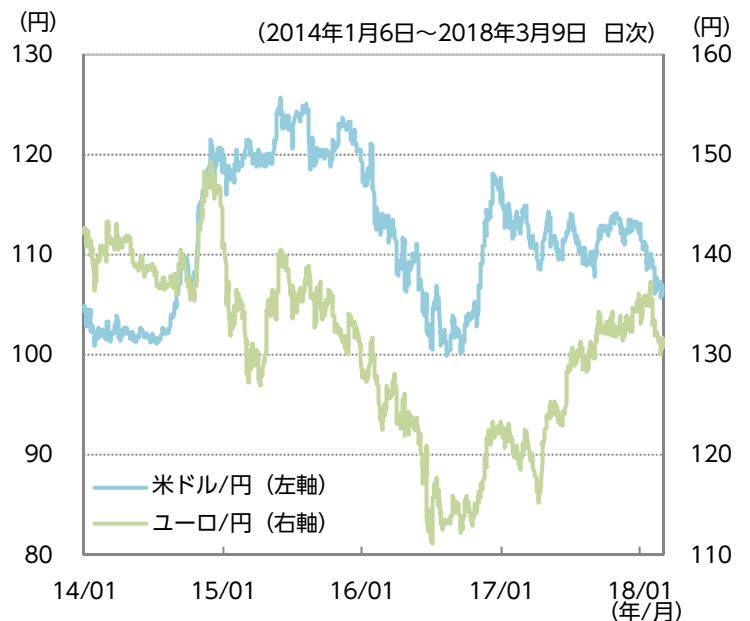


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 先週の米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。米国の保護主義的な通商政策による米景気の先行き不透明感や、米株式相場の大幅高等を受け、週央まで一進一退の展開となりました。週末は、米朝首脳会談開催の合意が伝わり、地政学リスクの後退が意識されたことから円売り米ドル買いが進行しました。（週末引け値：106円75銭～85銭）
- 週間では米ドル/円は1.01%の円安、ユーロ/円は0.94%の円安となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>